

## 学びに向かう力，人間性等の評価

各教科等で育む「学びに向かう力，人間性等」には，主体的に学習に取り組む態度として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と，観点別学習状況の評価や評定にはなじまず，こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取部分があります。

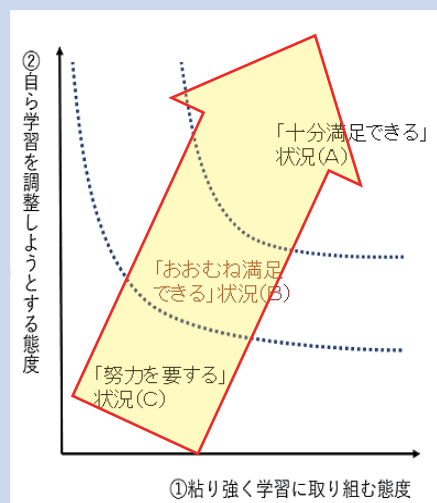
### 主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」については，知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価します。

<評価方法の工夫（例）>

- ノートやレポート等における記述
- 授業中の発言
- 教員による行動観察
- 児童・生徒による自己評価や相互評価等の状況を教員が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いること

教員は，児童・生徒の学習の調整が「適切に行われているか」を判断して済ますのではなく，知識及び技能の習得や，思考力，判断力，表現力等の育成に向けて児童・生徒が適切に学習を調整することができるよう，学習の進め方を適切に指導することが必要です。



### 感性、思いやりなど

「学びに向かう力，人間性等」のうち，観点別学習状況の評価や評定には示しきれない「感性，思いやりなど」については，児童・生徒一人ひとりのよい点や可能性，進歩の状況を，「個人内評価」します。

個人内評価の対象となるものについては，児童・生徒が学習したことの意義や価値を実感できるよう，教育活動等の中で児童・生徒に伝えていくことが重要です。具体的には，日々の授業等において，児童・生徒の変容に気付き，できる限り肯定的に受け止めて励ますように返すことが大切です。特に，児童・生徒一人ひとりによって出現の仕方や度合いが異なることに留意します。少しの変容にも気付くことができるよう，教員の評価力量の形成が必要です。

教員の言葉掛けが児童・生徒の「学びに向かう力」の醸成に大きな効果があることへの認識も欠かせません。

令和2年3月発行 問い合わせ先 神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課  
〒231-8509 横浜市中区日本大通33 電話 (045) 210-1111 (内線) 8217